



御船音頭

一、ハアー

春はあけぼの かすみに明けて
町は木どころ 意気どころ
咲いた桜は 妙見坂よ
寄する人波 花の波
ソレ ヨイトヨイト ヨイトサの
花の波 エー花の波

二、ハアー

並ぶ白壁 御船の川は
酒も名どころ 歌どころ
河鹿笛吹きや 蛸が舞うて
空にや景気の 揚花火
ソレ ヨイトヨイト ヨイトサの
揚花火 エー揚花火

三、ハアー

ひと目見せたや 風神洞は
珠の柱に 白珊瑚
千両万両 穂に穂が咲けば
見やれ 案山子も ひと踊り
ソレ ヨイトヨイト ヨイトサの
ひと踊り エーひと踊り

四、ハアー

眺め吉無田 小雪に暮れて
ゆけば御船の 灯がまねく
燃ゆる ほだ火の 切炬の宿に
宵は情けの 花も咲く
ソレ ヨイトヨイト ヨイトサの
花も咲く エー花も咲く



第43回 御船がぁーつぱ祭り

と なかまたち 恐竜 to

毎年8月第2日曜日に開催される「御船がぁーつぱ祭り」。43回目のがぁーつぱ祭りは8月9日、御船川河川敷で開催され、猛暑日のなか約3万人の来場者でにぎわいました。

祈願祭が行われたあと、甲斐宗運公の一番山車を先頭に、神輿パレードが町内を練り歩きました。お祭り広場では「こどもランド」が行われ、子どもたちは魚のつかみ取りや宝探しなどを楽しんでいました。祭りのテーマでもある「町民総参加」を目指し、今年は新たに5つの賞が設けられた町民総踊り。各賞を目指して26団体1,240人が参加し、仮装や一糸乱れぬ踊りを披露しました。

ステージでは、ロアッソ熊本火の国もりあげタイーやいちごくらぶとふねまるなどが登場し、会場を盛り上げました。辺りが暗くなると3,000発の花火が天高く舞い上がり、夜空に花を咲かせました。花火の後は、太鼓や歌のステージが行われ、祭りは幕を閉じました。

翌日は、関係者や御船中学生などのボランティアが朝6時から、お祭り広場一帯に散乱したゴミを拾いました。

町民総踊り表彰

がぁーつぱ大賞・・・御船町地域婦人会
やりきり度賞・・・高木公民館
目立ちたがり度賞・・・御船町消防団
努力むくわれ度賞・・・六丁目親子会 有志一同
楽しんでいる度賞・・・熊本県県央広域本部
上益城地域振興局
動きそろってます度賞・滝尾公民館

